

# 夏色の素敵な寄せ植え講座

～～～ 寄せ植えの基本を覚えましょう～～～

市川市花と緑のまちづくり財団 山内 宏子

## 基本その1 用土の選び方

用土を自分で作る場合、配合の割合などを考えねばなりません（赤玉土7:腐葉土3など）  
すでにいろいろな有効成分がブレンドされて売られている園芸用土がお手軽です  
あまり安価なもの、出どころがわからないもの（製造元の所在不明など）はおすすめできません

## 基本その2 花の選び方

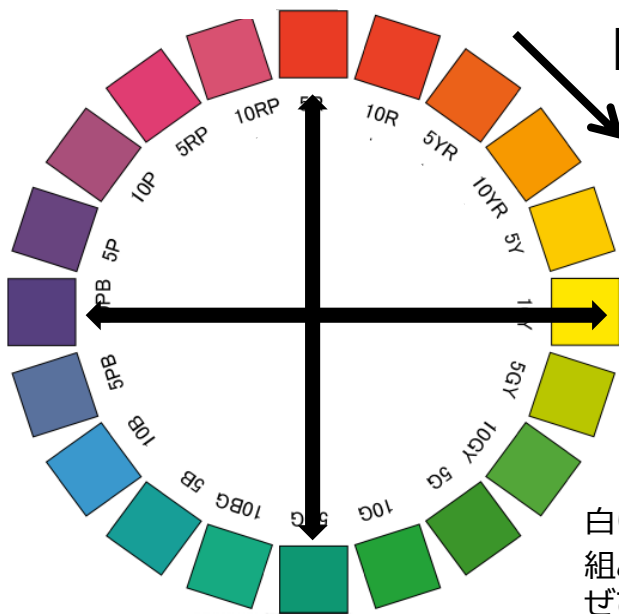
寄せ植えを作る場合、基本は同じ環境を好むものを組み合わせるのですがこの時期にお花屋さんの店頭に並ぶものは、お日様を好むものが多く大概どの組み合わせでもOKです

## 基本その3 水やり

水やりの基本は、「乾いたらたっぷり」 毎日決まった時間に定期的にあげるのではなく、自分の指で土に触れて確認してみましょう（特に冬場）

## 色使いについて

赤、黄、青などの色味を色相といい、それらを輪にしたものを色相環（カラーサークル）といいます 配色には同系色、類似色、反対色などを効果的に用いましょう



**同系色** 隣り合った色を使用することで、  
素敵なグラデーションの作品や  
統一感のある作品ができます

**補色** カラーサークルの反対側の色  
**反対色** はっきりとした組み合わせです

## 白を使う効果について

白い色は色と色の間のクッションの役割を果たします  
組み合わせに迷ったり、まとまりがつかないときに  
ぜひ使ってみてください！

いずれにしても、夏には鮮やかな色が似あいます

**シーズンカラー**を取り入れて、素敵なガーデニングをお楽しみください

今回はカラフルな容器を使いますので、白い花を使って涼しさを演出いたします

## 今回使用の容器について

容器(プランター)には、いろいろな材質のものがあります

⇒ テラコッタ、プラスチック製、木製など それぞれに特徴がありますが、今回はこれからの暑い時期、乾きすぎず、斬新な水やりコントロールシステムで失敗の少ないオランダ製の容器をご紹介します

**ARTSTONE**  
UNIQUE DRAINAGE SYSTEM

水やり簡単! アートストーンの使用法! "水のやり過ぎや乾燥から植物を守る"

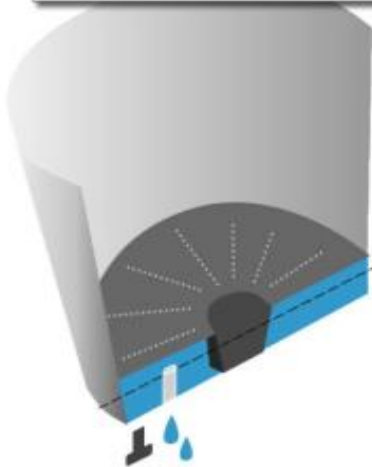
ココがポイント!  
鉢底に水が貯まるので土が乾きづらく植物の根の力で水を引上げる

1. ゴム栓を外し、鉢底石を敷く
2. 用土と一緒に植物を入れる
3. 鉢底から余分な水が流れるまで水をあげる

水やりのタイミングが表面の土が乾いたらたっぷり!!

## 底面給水型ポットでラクラク水やり

秘密は底の特殊な形状!



すのこの下に水が溜まり、土が乾くと自動的に水を吸い上げます。また、点線より上の余分な水は底穴から排水されます。

- 旅行や出張が多い方に
- 忙しくて頻りに水やりができない方に
- 水やりがしにくい場所に



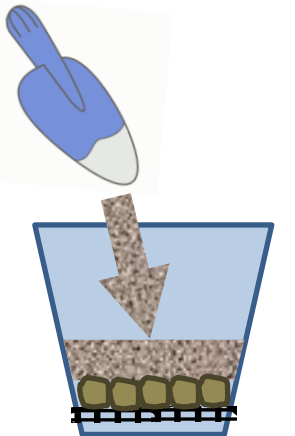
底のゴム栓



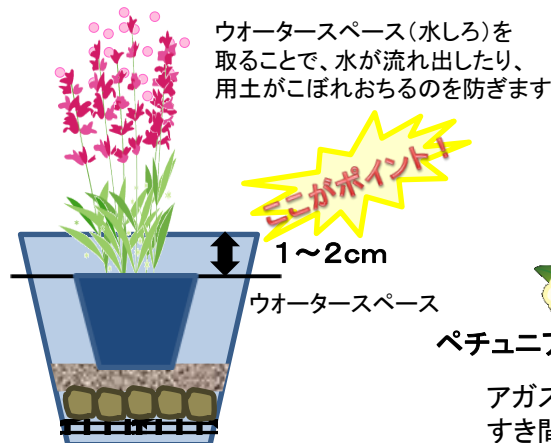
すのこは取り外しできません



COLORFUL



鉢底石を一并敷き用土を入れます



植物をポットごと置いてみて、養土の量を調整します  
ウォータースペースを取りましょう



アガスターシェ



ペチュニア

ペチュニア

アガスターシェの周囲にペチュニアを配置しすき間ができないように用土を入れていきます

ここがポイント!  
寄せ植えが完成したら、花に水がかからないように鉢底から流れ出るくらい水をやりませう

## 今回使用の花苗について

旬の花苗を選ぶのがおすすめです

⇒ 店頭にたくさん並ぶのがその時期の旬の花 お手頃価格で育てやすい

### ペチュニア



ナス科 夏の定番の花 サフィニア、リリカ、ミリオンベルなどはペチュニアを改良したものであらかじめ摘心をして植え付けるとよく咲きます  
(よく咲くということは、肥料を好むということです) 液肥、追肥を与えて 長く花を楽しんでください ペチュニアは挿し木で容易に増えます

### アガスターシェ



シソ科 半耐寒性宿根草 シソ科の花ではまだまだ珍しい一鉢を使います  
葉は細長く、全草からハッカの香りがします  
花は夏いっぱい開花した後、少し休んで また秋から開花します  
半分ぐらいの高さで切り戻しを行うと、秋からまた良い状態で花が楽しめます

## たくさんの花を咲かすためのワンポイント

### 摘 心

植え付け後、2~3週間したら、芽を摘んでわき芽を育てましょう



### 花がら摘みをしよう

こまめに花がらを摘みましょう

### 切り戻し

伸びすぎて花が少なくなったら  
3分の1ぐらいのところで  
思い切ってカットしましょう！



カットしたら捨てずに  
挿し穂を作ろう！

### 挿し芽

本日使用の ペチュニア、サルビアの仲間は挿し芽で簡単に増やすことができます  
きれいな用土に挿すと 発根してきますので挑戦してみましょう

### 夏場の管理

日当たりの良い場所に置き、水やりは鉢土が乾いてからたっぷり与えます  
このとき、花に水がかからないように注意しましょう

肥料は、培養土に元肥が入っていますので、最初の2週間くらいは必要ありません  
その後は、1~2週間に一度くらい、1000倍~2000倍に薄めた液肥を与えます。

~~~世界にたったひとつの作品です 大切に育ててくださいね~~~

公益財団法人 市川市花と緑のまちづくり財団

山内 宏子

農林水産省・国土交通省所管

日本家庭園芸普及協会プラチナグリーンアドバイザー

日本ハンギングバスケット協会認定マスター

日本園芸協会認定ガーデンコーディネーター

英国王立園芸協会会員